

スクールトリップで訪れたベルリン



学校で過ごす何気ない瞬間

## はじめに

季節はすっかり夏となり、連日暑さが続いています。さて、残された留学生活もあと 2 ヶ月となりました。帰りの航空券を購入したことで、じわじわとこの場所を離れるのだという実感が湧いています。「1日1日を大切に過ごそう」と日々心に留めながら、毎日の通学路を歩んでいます。

## Berlin School trip

5月中旬（13日～15日にかけて）、私たちの学年はドイツのベルリンへスクールトリップに出かけました。私はこちらでは3年生に所属しているのですが、現地の学校では3年生が最終学年にあたるため、今回の旅行は多くの友人にとって卒業旅行のような位置づけです。

もちろん学校のプログラムですので、デザインの勉強を兼ねた旅でもあります。3日間という限られた時間の中で、それぞれの希望を盛り込みながら、美術館や建築、有名な観光地まで幅広く巡り、ベルリンの街を存分に堪能しました。

ベルリンはドイツの中でも特に国際的な都市と言われるだけあり、多くの方が流暢な英語で話しかけてくれました。それに加え、人々が想像以上に温かかったことも印象的です。私たちが困った様子であたりを見渡していると、尋ねる前に向こうから進んで道を案内してくれるほどでした。

有名な「ベルリンの壁」や「ホロコースト強制収容所記念碑（ホロコースト・マニフェスト）」、ナショナルギャラリーなどを訪れ、歴史的にもデザイン的にも、数多くの新しい発見に満ちた旅となりました。



ホロコースト・マニフェスト

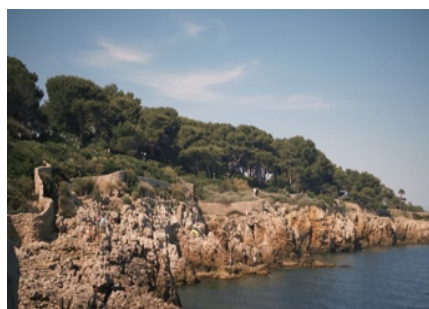


## ビーチの季節

いよいよ夏も本番となり、待ちに待ったビーチの季節がやってきました。泳ぐにはまだ少し海水が冷たいものの、この時期になるとビーチに横たわって日焼けを楽しむ人が急増します。

私はよく昼休みの時間を利用してビーチへ行くのですが、ひと月前までは閑散としていた砂浜が、今では多くの人で賑わっています。さらに、5月23日に開催されたカンヌ国際映画祭の時期を迎えると、カンヌ周辺のアンティープやニースも観光客で一気に溢れかえります。

私は現在アンティープに滞在しているのですが、先日の休日、友人と一緒に「CAP ANTIBES（アンティープ岬）」へ観光に出かけました。ニースからアンティープへと続く海沿いのビーチはその多くが石の浜（礫浜）なのですが、このCAP ANTIBESには周辺では珍しい「砂浜」があります。友人も私も、久しぶりに踏みしめる砂の感触に、内心とても舞い上がってしまいました。



CAP ANTIBES

## AI を使った試み

今回のパートナーシップ（協定プロジェクト）では、「AI の積極的な活用」というテーマが求められており、簡単な 3D モデルを AI に生成してもらうという挑戦を行っています。

実際に、自分たちのスケッチやアイデアから瞬時に 3D モデルを出力して視覚的に確認できるプロセスは非常に便利です。その一方で、AI を思い通りに操る（プロンプトを調整する）には独特のコツが必要だということも分かりました。うまく乗りこなせるようになれば、これ以上ない強力な味方になるのだと感じています。

私自身、デザインプロセスにおける AI の使用に関しては少し保守的（否定的）な考えを持っていたのですが、今回の協定先からの提案を通じて、こうした新しいアプローチを体験し、乗りこなしていく試みは今後必ず必要とされるスキルなのだと思えました。非常に良い経験になったと感じています。

## 終わりに

残り少なくなってきた留学生活、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。次回の報告も、どうぞ楽しみにしてください。